

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を策定しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 4年 5月 17日

学校名 福井市木田小学校

校長氏名 小林 利幸

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 環境やエネルギーについて学習します。
- ② ごみ減量・リサイクルを推進します。
- ③ PTAの人と協力し、地域の方々にも呼びかけます。

2 取組内容

① 環境学習・環境教育

総合的な学習の時間を中心に、教科横断的にSDGsの取組内容や、持続可能であることの意義、自分や家庭でできる取組について学習します。

各教科で環境に関する学習を行い、環境問題に気づき、環境を保全する必要性を学びます。

② ごみ減量・リサイクル

環境委員会活動を中心にペットボトルキャップ回収を行い、リサイクルします。





③ その他の環境保全活動

学校で取り組んでいる環境学習、環境保全活動について保護者に学校便りなどを通して伝達します。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

②ごみ減量・リサイクルの推進では、環境委員会から各クラスに呼びかけ、児童が各家庭でペットボトルキャップ回収の話をするすることで、保護者・全校児童が一丸となって協力し合います。人とのつながりによってリサイクルが進められ、有益な物に変化していくことを学び、物を大切にしようとする態度を育てます。

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">木田小学校</h1>													
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 環境やエネルギーについて学習します。 ② ごみ減量・リサイクルを推進します。 ③ PTAの人と協力し、地域の方々にも呼びかけます。 													
<p>2 取組内容</p> <p>① 環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生では、SDGsをテーマとして総合の授業を進めました。 ・環境教材等を活用して学習し、環境について新聞にまとめました。 <p>② 食品ロス減量の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食委員会が中心となって、食品ロス（食べ残し）の減量に取り組みました。 ・各学級で減量のための具体的な目標を設定しました。さらに、委員会が毎月の食べ残しのデータをグラフ化し、全校児童にお知らせすることで、全校で減量への意識を高めました。 <p>③ 家庭・地域と連携した環境活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境委員会が中心となってエコキャップ回収を行いました。集まったエコキャップは、PTAの方の協力で、スーパーへ運んでいただきました。 ・ユニクロの「服のちからプロジェクト」に参加しました。5年生が全校児童や家庭に古着の回収を呼びかけ、難民に送りました。 	<p style="text-align: center;">わたしたちのクラスでできること</p>  <p style="text-align: center;">1日あたりの食品ロス（食べ残し）の量</p>  <table border="1"> <caption>1日あたりの食品ロス（食べ残し）の量</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>食品ロス（g）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7年</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">食べ物をムダにしないで いただきます！</p> 	学年	食品ロス（g）	7年	74	6年	67	5年	51	4年	40	3年	40
学年	食品ロス（g）												
7年	74												
6年	67												
5年	51												
4年	40												
3年	40												
<p>★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）</p> <p>②について、食べ残しの減量のためにできることを自分たちで考え、継続的に取り組んできたことで、おそうじパンをしたり、協力して食べる時間を増やしたりといったように、児童たちが主体的に行動する姿が見られるようになりました。（協力・参加）</p>													
<p>3 見直し</p>	<p>【具体的効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②一人一人が食べ残しを減らそうとする意識が高まり、少しずつ食べ残しの量が減ってきました。 ③難民に古着を送る活動に参加し、家庭と連携して環境活動に取り組むことができました。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で取り組んでいる環境活動について、家庭だけでなく、地域の方々にも呼びかけ、今まで以上に広めていきたいです。 ・低学年や中学年においても、より主体的に環境について考えられる時間をつくっていきたいです。 												